

1 第2次健康日本21旭川計画の趣旨

我が国における急速な高齢化の進行に伴い増加している「がん」や「循環器病」などの生活習慣病は、身体機能や生活の質を低下させることから、その予防が重要な課題となっており、生活習慣病の発症や進行には、食生活や運動などの生活習慣が深く関わっていることから、疾病の早期発見や治療に努めるとともに、疾病の発症を予防する「一次予防」としての健康づくりが重要である。

健康づくりを総合的かつ効果的に推進するために国が策定した「健康日本21」を踏まえ、本市においても、市民の健康づくりを支援するための具体的な目標と取組を進めていくための指針として、平成13年度に「健康日本21旭川計画（平成14年度～平成24年度）」（以下「前計画」という。）を策定した。

その後、国では「健康日本21（第2次）（平成25年度～平成34年度（2022年度））」を推進することとなり、本市でも、前計画における取組から見てきた課題や健康づくりを取り巻く環境の変化を踏まえ、「第2次健康日本21旭川計画（平成25年度～平成34年度（2022年度））」（以下「計画」という。）を策定し取組を行ってきた。

計画では、すべての市民が生涯を通じて健やかで心豊かな生活を送ることができるよう、健康寿命を延伸し、生活の質（QOL=Quality of life）の向上を図ることを最終的な目標とし、市民の健康づくりに資する取組を推進している。

また、本市のまちづくりの指針である「第8次旭川市総合計画（平成28年度～平成39年度（2027年度））」においても、基本政策「生涯を通じて健康に暮らせる保健・医療の推進」の中で、市民一人ひとりの「自分の健康は自分でつくる」という主体的な健康づくりのための取組の推進を掲げている。

計画サイクルイメージ



2 中間評価の目的

計画では、計画の目標達成に向けた適正な進行管理のため、計画開始年度から概ね5年後を目途に中間評価を実施し、目標の達成状況や社会情勢等の変化を踏まえた見直しを行うこととしており、今年度は、計画開始から5年目を迎えることから、課題や方向性を明らかにし、必要な見直し等を行うことで、計画の最終年度に向けた取組の推進を図るため中間評価を行った。

3 中間評価の方法

(1) 中間評価の体制

ア 委員会

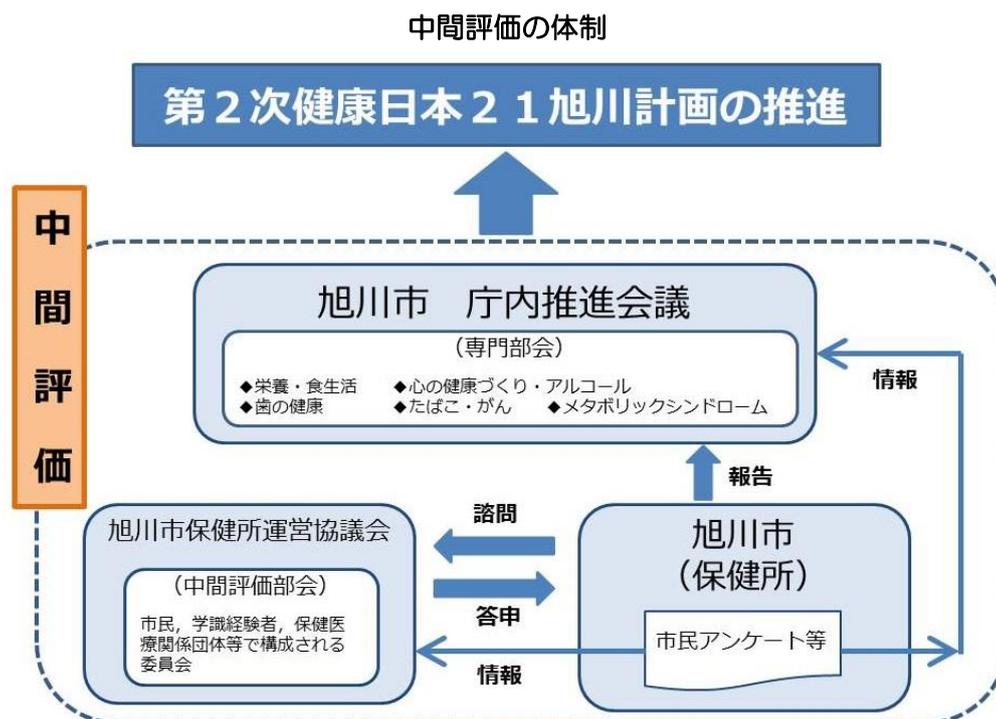
計画では、市民、学識経験者、保健医療関係団体等で構成される委員会を設置し、評価や見直し等の作業を行うこととしており、今回の中間評価に当たっては、旭川市保健所運営協議会に対し、市長から中間評価の実施に係る諮問を行い、旭川市保健所運営協議会に設置された「第2次健康日本21旭川計画中間評価部会」（構成委員10名）において、専門的な見地から調査審議を行った。

イ 健康日本21旭川計画庁内推進会議

庁内の関係課で構成する健康日本21旭川計画庁内推進会議（以下「庁内推進会議」という。）において、庁内関係部局の取組結果に対する評価や意見等の取りまとめを行い、計画の見直し等について協議した。また、計画で定める6つの取組分野については、庁内推進会議に設置する専門部会において、具体的な分析・評価等を行った。

ウ 市民アンケート調査等

健康日本21旭川計画アンケート調査（平成28年度実施）のほか、市民を対象に行った各種調査及び国や北海道の実績値等を基礎資料とした。



(2) 評価の方法

施策を推進する分野の取組目標ごとに定める健康指標の達成状況について、市民アンケート結果や各種調査、国や北海道が把握している数値等からの定量的な評価と、市や関係団体等が実施した取組の結果や課題などから、数値で表すことが難しい性質的な変化についての定性的な評価を踏まえ、総合的に評価を行った。

《取組目標、健康指標一覧》

「栄養・食生活」の分野
<p>取組目標：適正体重を維持する人を増やそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆適正体重を知っている人の増加 ◆適正体重を維持している人の増加 ◆低栄養傾向の高齢者の減少 <p>取組目標：栄養成分表示を参考にし、バランスのとれた食事をする人を増やそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆栄養成分表示の店の登録数の増加 ◆外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする人の増加 ◆家ではいつも「主食・主菜・副菜」を基本とした、栄養バランスのとれた食事を用意している人の増加 ◆食塩摂取量の減少 ◆野菜の摂取量の増加 ◆果物摂取量 100g 未満者の減少 <p>取組目標：朝食を摂る人を増やそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆朝食を摂らない人の減少 ◆朝食を毎日食べている児童生徒の増加 ◆朝食又は夕食を家族と一緒に週7回以上食べる人の増加
「身体活動・運動」の分野
<p>取組目標：意識して歩くなど身体活動を増やそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆意識的に体を動かすことを心がけている人の増加 ◆日常生活における歩数の増加 ◆15分程度続けて歩いている65歳以上の人の増加 ◆65歳以上で体力の衰えを心配する人の減少 ◆65歳以上で外出を控えている人のうち、足腰の痛みが理由の人の減少 <p>取組目標：運動を楽しみ積極的に身体を動かそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツ活動を行っている子どもの増加 ◆1週間に2回以上運動する人の増加 ◆1回の運動時間が30分以上の人の増加 ◆ほとんど運動しない人の減少 ◆運動習慣者の増加

「休養・心の健康づくり・アルコール」の分野

取組目標：ストレスとの上手なつきあい方と解消法を身につけよう

- ◆ストレス解消法を知っている人の増加
- ◆心の健康について相談先を知っている人の増加
- ◆自殺予防ゲートキーパーの数の増加
- ◆自殺を考えるような強いストレスを感じた人の減少

取組目標：適切な休養を確保しよう

- ◆睡眠による休養を十分に取れていない人の減少
- ◆就業者で休養を十分に取れている人の増加
- ◆週労働時間40時間を超える雇用者の減少

取組目標：飲酒の適量を知ろう

- ◆節度ある適度な飲酒の知識の普及
- ◆生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少

取組目標：未成年者の飲酒をなくそう

- ◆未成年者の飲酒をなくす
- ◆妊娠中の飲酒をなくす

「歯の健康」の分野

取組目標：歯と口の状態に適したセルフケアと定期受診で歯の喪失を予防し、8020を目指そう

- ◆1日に2回以上歯を磨く人の増加
- ◆歯と歯の間を清掃する補助用具使用者の増加
- ◆定期的な歯石除去や歯面清掃で受診する人の増加
- ◆歯の喪失予防
- ◆口腔機能が維持されている人の増加

取組目標：歯や口の問題を放置せずに、かかりつけ歯科医に相談し、歯の健康維持のコツを身につけよう

- ◆喫煙が歯周病に及ぼす影響についての知識を持っている人の増加
- ◆30歳以上で歯や口に悩みや気になることがある人の減少
- ◆定期的な歯科検診の受診者の増加
- ◆歯周病を有する人の減少

取組目標：生活習慣の改善と歯質の強化で、子どものむし歯を予防しよう

- ◆フッ化物洗口を行う幼児の増加
- ◆間食として甘味食品、飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ幼児の減少
- ◆3歳までにフッ化物塗布を受けたことのある幼児の増加
- ◆むし歯のない幼児の増加
- ◆12歳児の一人平均むし歯数の減少

「たばこ」の分野

取組目標：喫煙が及ぼす健康への影響を減らそう

- ◆禁煙・完全分煙対策を実施する公共施設の増加
- ◆健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う施設の増加
- ◆成人の喫煙率の減少

取組目標：妊娠中及び産後の喫煙をなくそう

- ◆妊婦中の喫煙をなくす

取組目標：未成年者の喫煙をなくそう

- ◆未成年者の喫煙をなくす

「糖尿病・循環器病・がん」の分野

取組目標：自分の健康状態をチェックし、健康づくりに取り組もう

- ◆がん検診の受診率の向上
- ◆特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上
- ◆悪性新生物SMR（標準化死亡比）の低下

取組目標：循環器疾患の原因となる脂質異常症、高血圧などにつながる生活習慣を改善しよう

- ◆成人の喫煙率の減少《再》
- ◆食塩摂取量の減少《再》
- ◆脂質異常症の減少
- ◆高血圧の改善
- ◆メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少
- ◆脳血管疾患SMR・虚血性心疾患SMRの低下

取組目標：糖尿病につながる生活習慣を改善しよう

- ◆日常生活における歩数の増加《再》
- ◆メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少《再》
- ◆糖尿病有病者の増加の抑制
- ◆血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の減少
- ◆合併症の減少